今川水系今川洪水浸水想定区域図（計画規模）

1　説明文

（1）　この図は、今川水系今川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）　この洪水浸水想定区域等は、指定時点の今川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／７５（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／７５（１．３％）の降雨に伴う洪水により今川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）　なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区間においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

２．基本事項等

（１）作成主体　福岡県

（２）指定年月日　平成３０年４月２７日

（３）告示番号　福岡県告示第４７６号

（４）指定の根拠法令　水防法施行規則第２条

（５）対象となる水位周知河川　　今川水系今川
（実施区間）県管理区間（油木ダムから海まで）

（６）算出の前提となる降雨　今川流域の２４時間の総雨量３１５ｍｍ

（７）関係市町村　行橋市、苅田町、みやこ町、赤村、添田町

凡例

浸水した場合に想定される水深
（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町境界
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

0　1　2　4 [km]

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号　平29情複、 第1609号）